

## 特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人環境市民
評価者氏名（職名）	折田泰宏氏（弁護士）、宗田好史氏（京都府立大学教授）
評価対象期間（年度）	平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

### 1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

#### (1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項 目	法人全体の労力に占める 事業に割く労力の割合*
事業名 環境首都創造プロジェクト	30%
事業名 グリーンコンシューマー・グリーンウォッシュ防止プロジェクト	40%
事業名 市民の発信で社会を変えるプロジェクト	15%
事業名 エコロジカルな次世代を育むプロジェクト	15%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

#### (2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
---	-------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	--------------------------

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し，第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が，監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### (3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また，適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等，役員名簿，定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は，外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

### (4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し，遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

### (5) 外部評価について

活動内容を評価し，改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を，理事会等で審議する機会を設ける等，改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

### ■宗田委員の所見

環境市民の事業活動は四半世紀の歴史を経て、成熟期に入った。新たな活動を始めることも重要ではあるが、これまで積み上げた活動の質を高め、より一層充実させる努力が要る。また活動を通じて、全国にネットワークが広がった。この繋がりを活かした戦略を考えてほしい。「グリーン連合」も2年目の後半になり、全国の組織との連携を通じた発信がますます期待される。

時代は、本格的な人口減少期に入り、空地や空家が増加し、自然エネルギーも急速に普及している。都会から農村や地方都市に移り住む若者も着実に増加している。その進み方は大都市と地方では異なるが、環境意識の高い市民層は今までにない広がりを見せている。その広がりをより強固なものにする活動が、成熟期の活動になるだろう。四半世紀の活動を成熟させることで、環境市民の活動が一段と進化した姿を全国の仲間に見せることになるだろう。

### ■折田委員の所見

社会、企業において環境についての関心が深く広く広がっていることは事実であろうが、経済成長という名目で、大規模な環境破壊を伴う施策が未だに全国各地で展開されている。アメリカでは環境保護に敵意を持つ大統領が誕生している。

世界的に、環境保護団体には冬の時代が長く続いているが、環境市民はぶれることなく粛々と地道な活動を続け、一つ一つが成果を上げていることに敬意を表したい。この継続的エネルギーは、いつか、大きなエネルギーに転換するものと思う。

中でも、2016年度の活動を見ると、グリーンコンシューマー活動がさらに深化していること、環境学習プログラムの開発・普及の試み、企業のエシカル通信簿の試み、自治体政策評価オリムピックの活動の試みに注目する。また、「環境マイスター」研修認定制度が期待通り発展しつつあることを評価したいと思う。

## 3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

### ■宗田委員の所見

どんな組織でも、四半世紀が経てばそろそろ世代交代が必要になる。活動の対象となる社会でも世代が変化しており、環境市民自体も新たに登場した新世代への発信を確実なものにするため、一定の世代交代を進めていると思う。新たな世代は、従来の活動を継続するだけではない。むしろ点検し、改定するためにこそ、世代交代が要る。自治体が10年前の環境基本計画を改訂するように、時代に即して、現在と未来の市民のために、四半世紀の蓄積を新しいアイデアで活用する斬新な発想が求められる。環境市民では、40歳代の活躍がめざましい。その活躍に大いに期待する。組織運営の上でも若手の登用に特段の配慮を求める。

### ■折田委員の所見

これだけの多様な活動を現在のスタッフでこなしていることは驚異だが、ボランティアを含め、いかに多くの人材を集めるかの工夫を考えて欲しいと思う。

## 《評価対象法人記入欄》

### 4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
<p>環境市民の事業活動は四半世紀の歴史を経て、成熟期に入った。新たな活動を始めることも重要ではあるが、これまで積み上げた活動の質を高め、より一層充実させる努力が要る。また活動を通じて、全国にネットワークが広がった。この繋がりを活かした戦略を考えてほしい。「グリーン連合」も2年目の後半になり、全国の組織との連携を通じた発信がますます期待される。</p> <p>時代は、本格的な人口減少期に入り、空地や空家が増加し、自然エネルギーも急速に普及している。都会から農村や地方都市に移り住む若者も着実に増加している。その進み方は大都市と地方では異なるが、環境意識の高い市民層は今までにない広がりを見せている。その広がりをより強固なものにする活動が、成熟期の活動になるだろう。四半世紀の活動を成熟させることで、環境市民の活動が一段と進化した姿を全国の仲間に見せることになるだろう。</p>	<p>「グリーン連合」が一つの見本にしているヨーロッパの組織のように、毎週記者会見できるくらいの力をもてるよう、環境市民としても積極的な役割を果たしていきたい。</p> <p>持続可能な消費と環境首都創造の活動で培ってきた具体的な活動を継続的に実現していくネットワークをより強く広げていきたい。</p> <p>活動を始めて25年経ち、市民の意識は変わってきたと感じる。次に頑張ろうという人たちとともに活動を深化させていきたい。</p>
<p>社会、企業において環境についての関心が深く広く広がっていることは事実であろうが、経済成長という名目で、大規模な環境破壊を伴う施策が未だに全国各地で展開されている。アメリカでは環境保護に敵意を持つ大統領が誕生している。</p> <p>世界的に、環境保護団体には冬の時代が長く続いているが、環境市民はぶれることなく粛々と地道な活動を続け、一つ一つが成果を上げていることに敬意を表したい。この継続的エネルギーは、いつか、大きなエネルギーに転換するものと思う。</p> <p>中でも、2016年度の活動を見ると、グリーンコンシューマー活動がさらに深化していること、環境学習プログラムの開発・普及の試み、企業のエシカル通信簿の試み、自治体政策評価オリンピックの活動の試みに注目する。また、「環境マイスター」研修認定制度が期待通り発展しつつあることを評価したいと思う。</p>	<p>2015～17年に開発した環境学習プログラムのさらなる実施普及、企業のエシカル通信簿の業種拡大を含めた継続実施、自治体政策評価オリンピックの第1回実施、表彰と、活動を深めていきたい。</p> <p>環境マイスター研修認定制度推進については、今後、自動車販売店での取り組み地域及び認定者数の拡大のほか、「マイスターがいる店 モデル店舗」の実現、ステップアップ研修の実現、新たな対象業種でのプログラム採用の働きかけ等、進めていきたい</p>

<p>どんな組織でも、四半世紀が経てばそろそろ世代交代が必要になる。活動の対象となる社会でも世代が変化しており、環境市民自体も新たに登場した新世代への発信を確実なものにするため、一定の世代交代を進めていると思う。新たな世代は、従来の活動を継続するだけではない。むしろ点検し、改定するためにこそ、世代交代が要る。自治体が10年前の環境基本計画を改訂するように、時代に即して、現在と未来の市民のために、四半世紀の蓄積を新しいアイデアで活用する斬新な発想が求められる。環境市民では、40歳代の活躍がめざましい。その活躍に大いに期待する。組織運営の上でも若手の登用に特段の配慮を求める。</p>	<p>理事の改選にあたっては若手の登用も考慮して人選した。次期中期計画の検討も若手の活動メンバーを中心に案の作成検討を進めており、これから理事会で時間をかけて策定に向け進めていきたい。</p>
<p>これだけの多様な活動を現在のスタッフでこなしていることは驚異だが、ボランティアを含め、いかに多くの人材を集めるかの工夫を考えて欲しいと思う。</p>	<p>自転車マップ作製の取り組みは、ボランティアが中心を担っていくような事業のいい例になるのではと考えている。主要なプロジェクトにも、ボランティアで活動を広げていく仕組みをつくっていきたい。</p>

#### 備考（審査委員会のコメント）

<p>環境に関する啓発活動の内容を積極的に発信するなど、多様な活動が行われている。引き続き、条例指定・認定による税制上の優遇措置のメリットを活かしつつ、若手の起用やボランティアの活用等により、活動を更に充実したものにされることを期待する。</p>
---